

# ほすほす つぷつぷ じゃんぷ

特訓進学塾

名教



2011年度版 第8号

塾長コラム

## あんぱんち

第二十一回

年末です。この時期になると、1年を振り返る企画ものを、いろいろなどころで見かけます。東日本大震災が3月11日に発生し、地震、津波、原発と、大きな被害を及ぼしました。塾に通っていた方の中には、直接あるいは間接的に関わりのある方がいらっしゃる。大変なご苦労をされました。心よりお見舞い申し上げます。子どもたちも、いろいろな場面で、募金活動などに協力したようで、少し距離のあるこの地域でも、災害について考えさせられたのではないのでしょうか。

こうした自粛ムードの中の2011年でしたが、ちゃんと明るいニュースもありました。7月にはサッカー女子日本代表「なでしこジャパン」がワールドカップで初優勝し、盛り上がりました。2011年の流行語大賞、ヒット商品番付のトップは、ともに「なでしこジャパン」と発表されています。なでしこジャパンのように、元氣と勇気があふれ、それを人に与えられるような人になってほしいなど、子どもたちには期待します。

そんなヒット商品番付、ご覧になった方も多いと思いますが、東西合わせて18個のヒット商品が紹介されています。別に流行に乗り遅れないようにというわけではありませんが、これら18個の商品のうち、どれだけ自分がかかわったかなと思ひながら、振り返ってみました。

東の横綱「なでしこジャパン」→テレビで応援。

西の横綱「スマートフォン」→iPhoneを購入。

東の大関「Facebook」→始めた！おもしろい、お勧め。

西の大関「該当なし」

東の関脇「スーパーカー」→名教では、ふつうのクールビズ。

西の関脇「冷やしフード」→よく知らない…。

東の小結「第3のエコカー」→ライドリングストップ車。まだ見たことない。

西の小結「自転車」→家族は乗るが、私は乗らない。

東前頭1「マル・マル・モリ・モリ」→息子のリクエスト、車で流した。

西前頭1「体脂肪計タニタの社員食堂」→まだ見たことない。

東前頭2「ジューズ」→一度だけ食べてみた。

西前頭2「ミラーレス一眼」→まださわったことがない。

東前頭3「謎解きはティナーのあとで」→まだ読まず、見ず。

西前頭3「ステイプ・ジョブス」→Mac・iPhoneでお世話になった。

東前頭4「ボーイング787」→かっこいい、すごい。(写真で見たのみ)

西前頭4「九州新幹線」→乗る機会がないなあ。

東前頭5「AKB48」→子どもたちは大好きですが、私は???

西前頭5「K-POP」→AKBと同様、私には???

東前頭6「トニーングシューズ」→?

西前頭6「該当なし」

まもなく1年が終わります。社会の出来事とあわせて、お子様を取り組んできたことを列挙して今年を振り返り、新しい年の目標を語らせる、こんな親子コミュニケーションをお勧めします。

本年も、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。2012年が皆さまにとって、よい年でありますように！

## 今号の内容

- ① あんぱんち
- ② 今月の論語
- ③ ぼくたち・わたしたちのハローワーク
- ④ グラホ-ミュージック
- ⑤ 気ままに理科
- ⑥ TSUZUKIのTSUBUYAKI
- ⑦ 今月のクイズ
- ⑧ 読者のコーナー

## 今月の論語

子曰わく、学は及ばざるが如くするも、猶おこれを失わんことを恐る。

どうすれば勉強が身につくのだろうか？

「学」というのは「勉強、学問」のことです。「及ばざるが如く」というのは、「追いかけても、追いかけても、追いつかない」という意味です。つまり、「勉強するときにはいつも自分はまだまだ未熟だ、という謙虚な気持ちで、食欲に挑戦しなければいけませんよ。」と孔子は言っているのです。

次に「猶おこれを失わんことを恐る」とあります。人間というのは、覚えたつもりでもすぐに忘れてしまうものです。なかなか覚えることができません。だから、「せっかく覚えたものを忘れないように、学んだことは一所懸命復習することが大切です。」と孔子は言っているのです。

人生というのは、果てしない追いかけっこのようなもの

## 「あたりまえだけど、とても大切なこと」

### ルール 21

学校じゅうの先生の名前をおぼえて、見かけたときにはきちんと挨拶しよう。たとえば、こんなふうに…「おはようございます、グレアム先生」、「こんにちは、オーティス先生、いいお天気ですね」

### ルール 22

学校には多くの乗客がある。このクラスにお客さまを迎えるときには、きみたちのうちの二人が校門まで行く。お出迎えをして、歓迎の気持ちを伝えるためだ。お客さまが到着したら、お出迎え役は自分の名前を名乗り、「よくいらっしゃいました」と声をかけること。その後、お客さまを先導して少しか校舎めぐりをしてから、教室に案内しよう。

「あたりまえだけど、とても大切なこと」～子どものためのルールブック～  
(ロン・クラーク著 亀井よし子訳 草思社)より

のです。「これでもういらい」ということはありません。やと追いついて目標を達成したと思っても、すぐにまた次の目標が現れたり、難問が降りかかってきたりします。「もうこれでいいのだ」とホッとした瞬間に、人間は墮落していきます。だから、常に「自分はまだまだこれからだ、何くそ、何くそ」という気持ちで挑戦しなければいけないのです。今月の論語では、そういう精神を説いているのです。

常に「何くそ、何くそ」と思って挑戦する。そうすることによって、みんな立派な人間に成長していくのです。

★ ★ ★  
参考図書 瀬戸謙介『子供が喜ぶ「論語」』(致知出版社)